

開講科目名	発達科学への招待		
担当教員	朴木 佳緒留	開講区分	単位数
		前期	2単位
授業のテーマと目標			
発達科学とは何か、発達科学部で何を学ぶか、教員と学生がいくつかのテーマを通して、共に考え合う。人間の発達とそれを支える環境について広く、深く考えたい。			
授業の概要と計画			
授業は3つのモジュールにより構成され、Aモジュールでは「個人の発達」、Bモジュールでは「社会と環境についての発展」、Cモジュールでは発達をとらえる視点の一つである「ゆらぎ」をテーマに、13名の教員が講義や対談を行う。各モジュールごとにディスカッションの時間を設け、最終の授業では、学生主体のミニシンポジウムで全体のまとめを行う。			
成績評価方法と基準			
出席と授業への参画を重視して、評価する。 毎回の授業で、小さな感想や授業について考えたことを書く時間を設定し、評価する。 授業全体を通した、まとめのレポートの提出を求める。レポートは、自分の頭で考えたか否かという側面を重視して評価する。			
履修上の注意(関連科目情報等を含む)			
授業は学生番号奇数組みと偶数組みの2クラスに分けて行う。最初の授業でテキストを販売する。			
オフィスアワー・連絡先			
学生へのメッセージ			
発達科学部の学部共通授業であり、学生は発達科学について自分の頭で考え、自らのアイデンティティーを形成してほしい。			
テキスト			
「発達科学への招待」かもがわ出版（2008）発達科学への招待編集委員会。			
参考書・参考資料等			
各授業時間に適宜、指示する。			